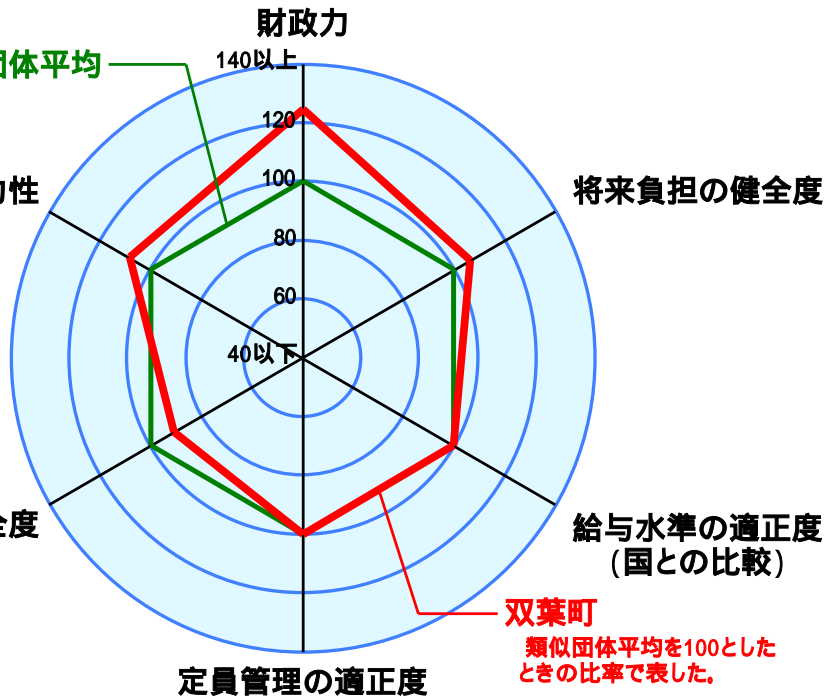
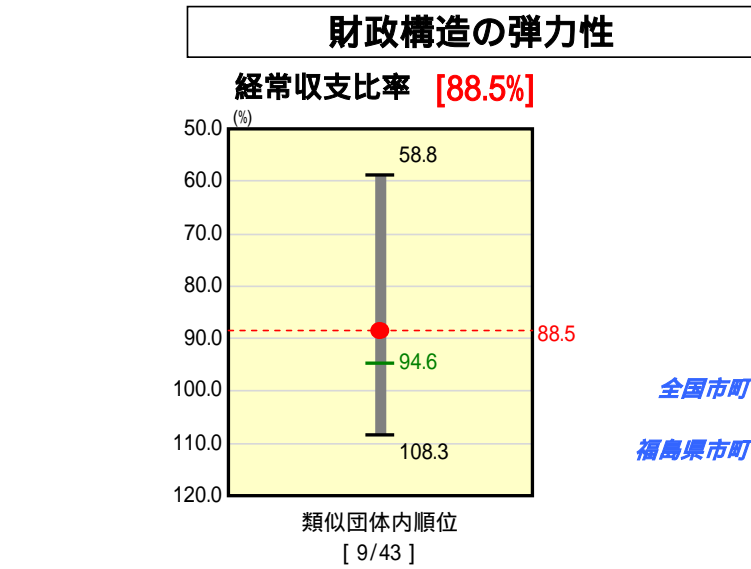
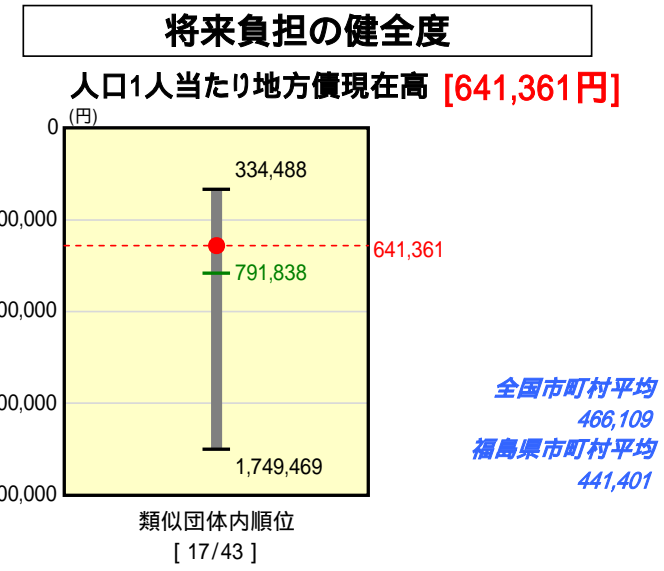
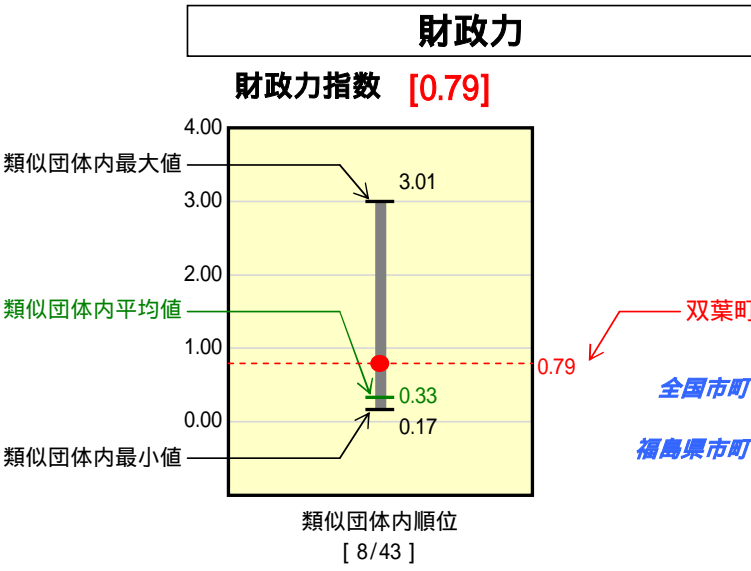


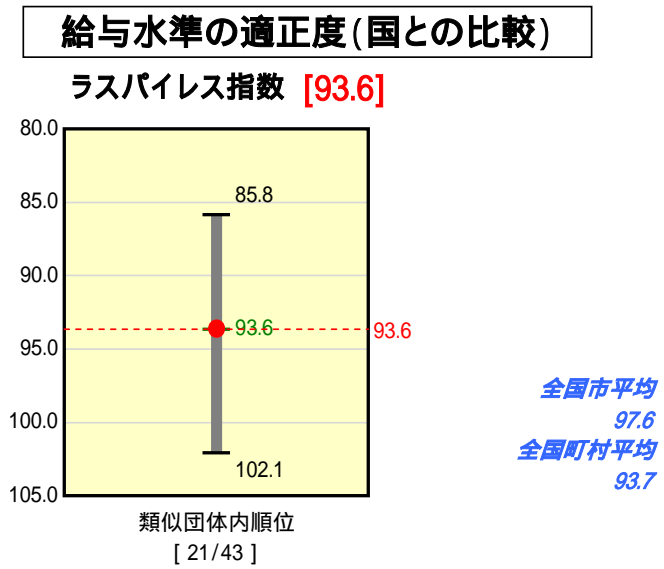
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 双葉町

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 7,527人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 51.40 km ² |
| 歳入総額 | 6,016,439千円 |
| 歳出総額 | 5,886,040千円 |
| 実質収支 | 41,549千円 |



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数 : 本町には東京電力(株)福島第一原子力発電所(5、6号機)が立地し、発電設備等に係る固定資産税が収税の約50%を占めているため、財政力指数は0.79と類似団体平均(0.33)を0.46ポイント上回る。本町では平成12年度(0.67)を境に、指数は改善する傾向が見られるが、今後も財政基盤強化のため収税の徴収率向上対策を講じるなど、積極的に自主財源の確保に努める。

経常収支比率 : 本町の経常収支比率は、類似団体平均(94.6%)を6.1ポイント下回る88.5%で、平成11年度(75.3%)以降、公債費等の増加に伴い比率が上昇している。今後は公債費の圧縮に努め、人件費にあっても総務省通知による定員適正化計画に基づき職員の削減を図る(平成22年4月1日までに7名削減)。また、事務事業の再編・整理においては、事業の緊急性、費用対効果の観点から既存事業の廃止・縮小を図るとともに、物件費については対前年度比10%減の数値目標を設定するなどして経常経費の削減と経常収支比率の抑制を図る。

起債制限比率 : 本町の起債制限比率は13.3%で類似団体平均(10.5%)を2.8ポイント上回る。このうち総合保健福祉施設建設事業(平成9、10年度事業)に係る元利償還金は償還額全体の約20%を占めている。今後は、新規の大規模建設事業の実施を見合わせ、地方債発行額を地方債償還額以内に抑制するとともに、借換え等による公債費負担の平準化を積極的に検討するなど起債制限比率の低下を図る。

人口1人あたり地方債現在高 : 本町の人口1人あたり地方債現在高は641,361円で、類似団体平均(791,838円)を150,477円下回る。普通建設事業の緊急度、優先度を総合的に判断のうえ総事業費を抑制することにより、今後新規地方債の発行を抑え、財政の健全化を図る。

ラスパイレス指数 : ラスパイレス指数は93.6で、類似団体平均水準となっている。現行の給料表は年功的な体系となっており、こうした給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から職務の級間の給料表水準の重なり縮小などの措置を講じるとともに、各種手当の総点検を行い給与の適正化に努めるなどとして、今後も指数の抑制を図る。

人口1,000人あたり職員数 : 人口1,000人あたり職員数は13.68人で、類似団体平均(13.77人)とほぼ同水準にある。平成17年度から平成21年度までの5年間に15人の定年退職者が生じるが、事務事業の見直しや電子自治体化の推進により完全補充を見合わせ、平成22年4月1日までに職員数7人を削減することを目標とする。

